

# 道徳通信

愛西市立八開中学校  
道徳通信  
令和3年12月 1日  
1-A  
青ブロックの教職員



## 「目標をもって学び、困難を乗り越えて自分を高めていくことについて考えよう」 ～道徳「私の再出発」を通して考えました～

中学校の「夜間学級」に、78歳で入学した見目律子さん。戦争末期に子供だった見目さんは、複雑な家の事情もあり、中学校には進学できませんでした。その後、地方公務員として63歳まで働き子どもを自立させた後、自分のことが気になります。「街で英語の看板を見ても何が書いてあるのかわかりません。わからないままで終わらせたくない。たった一度の人生、悔いを残したくない。」と、役所に相談に行き、「夜間学級」があると知り、入学することができました。見目さんが書いた作文を通して、目標をもって学び、自分を高めていくことについて考えました。

●● ●●さん

勉強が苦手だけど見目さんみたいにわからないまま終わるんじゃなくて一個一個を大切に勉強する。

●● ●●さん

諦めなければどんな歳でもどれだけ遅れていても間に合うと思った。

●● ●●さん

人がやりたいと思うことを実行するのは、いくつになってもいいんだとあらためて思った。

●● ●●さん

学ぶということは自分にとって大切だから、大切にしようと思った。

●● ●●さん

自分は、勉強することが楽しいとあまり感じれていなくて、嫌だなと思ったこともあるけれど、見目さんのお話を聞いて勉強できることの大切さを知ることができました。

●● ●●さん

見目さんは、中学に通えず人生を進んで78歳からまた勉強しようという気持ちがあるのがすごいなと思った。

●● ●●さん

お年寄りになっても何かを学ぶと言うことは本当に大切なことだとわかった。自分もこれから苦手なものでもしっかり学んでいこうと思う。

●● ●●さん

三班の発表は、気持ちの変化がわかりやすくていいまとめ方だと思った。勉強できない人は戦争でだけでなく他にも色々な事情があると思う。でもだからこそ当たり前になっている学校に行けなくて学べなかったら…という気持ちを考えるには難しいことだと思った。

●● ●●くん

自分に対しての目標をはっきり決めていないのでまずそこから考えていきたい。

●● ●●くん

年齢関係なく学校に行けるのはいいと思った。これから学校生活も人生の中で一度だけなので悔いがないように生活していきたい